

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成 27 年度 第 2 回 幹事会

平成 28 年 1 月 19 日 14 時 ~
糸魚川市役所 203・204 会議室

1 開会

2 報告

- 事業の実施状況について 資料1
- 訪日ムスリム外国人旅行者の受入環境整備等促進事業について
. 資料2

3 審議事項

- 平成 28 年度事業計画（案）について 資料3
- 平成 28 年度収入支出予算（案）について

4 その他

- 開業 1 周年記念イベントについて
3/20（日）10：30～17：15（予定） 糸魚川駅アルプス口駅前広場特設会場

事業の実施状況について（報告）

平成 27 年 4 月～12 月

これまでの取り組み

（1）周遊型広域旅行商品の販売促進

日本旅行・ジバング倶楽部

『つつじ、さつき、藤、花めぐり庭めぐり』

内 容：藤まつり、月華山かねこつつじ園（以上、糸魚川市） 護国寺（朝日町）

出発日：5 月 10 日 乗車人数：13 名

びゅうトラベルサービス・大人の休日倶楽部

『夏の北アルプスと日本海 秘境の歴史と文化にふれる 2 日間』

内 容：高田公園、岩の原葡萄園（以上、上越市）

フォッサマグナミュージアム（糸魚川市）、百河豚美術館（朝日町）

姫川源流自然探勝園（白馬村）、大町山岳博物館（大町市）

出発日：7 月 30 日 乗車人数：22 名

びゅうトラベルサービス（ネット限定）

『北アルプスの絶景と紅葉の「翡翠園」・「谷村美術館」糸魚川名所めぐり』

内 容：大町山岳博物館（大町市）、姫川源流自然探勝園（白馬村）、千国の庄資料館（小谷村）～糸魚川定期観光バス乗車～相馬御風宅、加賀の井酒造、大王あじさい園（以上、糸魚川市）

出発日：11 月 20 日 乗車人数：11 名

(株)阪急交通社

『北陸新幹線で一直線！誰も知らない!?糸魚川駅を訪ねる 3 日間』

内 容：フォッサマグナミュージアム、街歩き、加賀の井酒造、糸魚川温泉・笹倉温泉（以上、糸魚川市）

出発日：1 月 24 日～4 月 19 日 計 26 回 現在販売中

(株)はとバス

『もう乗った!?祝 1 周年北陸新幹線ちょい乗り体験と秘境グルメの宝庫！日本海大満喫』

内 容：坂口記念館（上越市）～糸魚川駅ジオパル・糸魚川温泉・親不知コミュニティロード・市振街歩き・親不知ピアパーク・加賀の井酒造・玉翠園・谷村美術館（以上、糸魚川市）

出発日：2月27日・3月5日・3月11日・3月18日・3月21日・3月26日
現在販売中

(2) 認知度調査および開業効果測定事業

- ・ 北陸新幹線開業後において、当地域と北陸新幹線の認知度調査を行うことで、今後の戦略を立てるうえでの効果検証資料の取得を行う。

【調査日】 9月30日

【調査方法】 ネットリサーチ

【ターゲット】 (年代) 20代～60代の男女

(居住地域) 一都三県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)

関西圏(大阪府、京都府)

沿線都市(群馬県、長野県)

北陸三県(富山県、石川県、福井県)

【対象者数】 1,200人

【調査項目】 15項目

- ・ エリアの認知度、興味度および経験度
- ・ 北陸新幹線の開業認知度
- ・ 北陸新幹線の利用意向と利用する理由
- ・ 開業によるイメージと今後の来訪意欲度
- ・ 旅行者の動き方 など

(3) 出身タレントの活用

- ・ 糸魚川市出身のよしもと芸人横澤夏子さん、各県の住みます芸人を活用し、観光地を紹介するYoutube動画を作成。
- ・ 撮影日、撮影場所は以下のとおり。
 - 上越市・朝日町・糸魚川市 撮影日：6月3日(水)
 - 撮影箇所：上越市...春日山城跡
 - 朝日町...ヒスイ海岸
 - 糸魚川市...糸魚川駅ジオステーションジオパル
 - 小谷村・白馬村・大町市 撮影日：7月21日(火)
 - 撮影場所：小谷村...梅池自然園
 - 白馬村...白馬大雪渓
 - 大町市...黒部ダム
- ・ 成果品の納品がずれ込んだため、H28年度用の観光商材として使用していく見込み。

(4) 出店支援事業

- ・ 糸魚川駅前を会場に開催された『国際ご当地グルメグランプリ2015 in 糸魚川』(10/3～4)に、上越市の農家民宿どぶろく荘が出展。連携会議で出展料を負担することで物産販売を支援した。



(5) 二次交通整備拡充事業

駅レンタカー利用者の乗捨て料金の補助

- ・ 糸魚川営業所を起点とする乗捨て料金 4,320 円エリアの乗捨て利用について、乗捨て料金の全額を補助することで利用率の向上を促し観光流動の創出を図る。
- ・ 対象となる営業所
 J R 東日本エリア 上越妙高、飯山、長野、信濃大町、松本
 J R 西日本エリア 黒部宇奈月温泉、富山、新高岡
- ・ 期間は平成 27 年 10 月 1 日～12 月 27 日まで。



運行実績 10 件

内訳：信濃大町 糸魚川 1 件、松本 糸魚川 2 件

糸魚川 上越妙高 4 件、糸魚川 松本 2 件、糸魚川 富山 1 件

特急バスの延伸の検討 (冬季インバウンド対応事業へ)

- ・ 冬季、白馬パレーに滞在する外国人観光客の食事難民解消策として、白馬 - 糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図る。
- ・ 事業の実施主体は、一般社団法人糸魚川青年会議所に属するグローバル観光委員会。

【事業概要案】

運行スケジュール (全 12 回)

平成 28 年 1 月 6 日 (水)、7 日 (木)、13 日 (水)、14 日 (木)、20 日 (水)、21 日

(木) 27日(水) 28日(木) 2月3日(水) 4日(木) 10日(水) 11日(木・祝)

運行時間

白馬東急ホテル(16:30) = = = 八方バスセンター(16:40) = = = 糸魚川駅(17:50~21:00) = = = 八方バスセンター(22:00) = = = 白馬東急ホテル(22:10)

車両

マイクロバスタイプ(27人乗り)

利用料金

片道500円(往復1,000円)

広報宣伝

チラシの作成・配布

エッセシャルガイド掲出



(6) 二次交通ビジョンの策定

「北陸新幹線糸魚川駅利用促進に向けた戦略会議」を設置し、北陸新幹線糸魚川駅の利用促進策を練るとともに、二次交通の環境整備に向けた検討と周遊ルートの制度設計を目指す。

構成団体 西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社
新潟県
長野県
北アルプス日本海広域観光連携会議 構成市町村
(糸魚川市、上越市、大町市、白馬村、小谷村、朝日町)

会議経過 12月24日 第1回戦略会議 開催

第1回目の会議の意見を踏まえ、観光施設への誘導強化に特化し、現状の観光施設へのアクセス方法(二次交通)について全体の状況をまとめ、二次交通のニーズ調査を行う中で、新しい二次交通(新ルート、補完的役割、周遊化)の検討、実施に向けて取り組む方向で進めることとする。

(7) その他

布地スクリーンの制作

- ・ 連携会議のPRのための共通デザインのスクリーンを制作した。



長野県誘客キャンペーン

- ・ 海水浴をはじめとする夏の誘客宣伝のため関係機関を訪問し、PRに努めた。

【実施内容】

開催日時

平成27年8月6日(木)

訪問先

小谷村観光振興課、白馬村観光局、大町市産業観光部観光課

内容

“夏だ！海だ！糸魚川へ行こうキャンペーン”チラシの配布

プレミアム旅行商品券チラシの配布

糸魚川市内路線バス1日乗り放題チラシの配布 など

実施主体

糸魚川市観光協会

あいのトキめき事業

- ・ 観光交流事業として、朝日町と糸魚川市が連携し、“おとなの遠足 in 朝日町”を開催。
- ・ 鉄道を利用して会場(あいの風とやま鉄道泊駅)に集合させることで、えちごトキめき鉄道の利用促進を図った。

【実施内容】

開催日時

平成27年10月24日(土)

内容

海岸散策・街めぐりなど、

アクティビティを含むパーティーの開催。

参加対象者

糸魚川市、新川広域圏に居住する20～49歳までの独身男女

参加実績：男性28名 女性26名



これからの取り組み

(8) 住民見学会の開催

連携会議市町村内に居住する住民を対象に、新幹線駅舎見学と糸魚川市内の観光ツアーを開催する。

ツアー名 北陸新幹線糸魚川駅と荒波あんこう祭り見学ツアー

日程 平成 28 年 1 月 24 日(日)

参加費 3,000 円

行程(案) 発地により違いあり。

各地から乗車 = = = 糸魚川駅・ジオパル見学 = = = あんこう祭り見学 = = = 昼食(マリンドリーム能生 or ヒスイ王国館) = = = 玉翠園・谷村美術館 = = = フォッサマグナミュージアム = = = 帰路

参加者 58 名(H28.1.15 現在)

大町方面 33 名、白馬・小谷方面 15 名、上越方面 10 名、朝日方面(不催行)

(9) 訪日ムスリム外国人旅行客の受入環境整備等促進事業

白馬五龍周辺で行われているムスリム外国人旅行客受入の取組みをエリア内に広げ、インバウンド客受入の知識の習得と受入環境整備を行う。

ムスリムセミナーの開催

日程 2 月 22 日(月) 上越市民プラザ 13:30~

2 月 23 日(火) 糸魚川市民会館 13:30~

2 月 24 日(水) サンアルプス大町 9:30~

内容 第一部「イスラム教について」(60 分)

第二部「ムスリム客の受入について」(60 分)

質疑応答(30 分)

ムスリム対応料理セミナーの開催

日程 3 月 22 日(火) 上越市民プラザ 13:30~

3 月 23 日(水) 糸魚川地区公民館 13:30~

3 月 24 日(木) 大町公民館 10:30~

内容 地域の食材でマレーシア料理を作り、調理・試食を通じて楽しみながら食文化の違いを学ぶ。

キブラシールの作成

作成部数: 1 万枚(サイズ 145mm×45mm) エリア内の宿泊施設等に配布する。(申込制)

完成時期: 3 月初旬予定

ムスリム専用ホームページの作成

作成言語: 英語(一部、日本語併記)

デザイン・構成: 市町村ごとにムスリム対応施設一覧をデータとして掲載。

完成時期: 3 月中旬予定

(10) 二次交通整備拡充事業（鉄道見所マップの作成）

大手鉄道雑誌への記事掲載で認知度の向上を図った後、掲載記事を基に将来的に総集編冊子を作成する。（H28 大系線非電化区間掲載、H29 大系線電化区間...）

また、雑誌掲載にあわせオリジナルノベルティグッズを配布し、直接的かつシンプルに乗車を動機付けることで来訪を促す。

『鉄道ジャーナル（月刊）』への記事掲載

鉄道に関心がある人を直接ターゲットにすることで、乗り鉄、撮り鉄などの乗車にも繋げる。

- ・掲載内容：大系線の写真（車窓、駅舎、車両や歴史が感じられる写真等）、駅員のインタビュー、大系線沿線（非電化区間（糸魚川～南小谷））の観光情報など。
- ・発行日：6月21日（火）（取材は4月中旬～5月初旬） H28年2月～打合せ

ノベルティグッズの作成

子供～大人まで惹きつけられるような鉄道グッズを作成し、期間限定のプレゼントキャンペーンを実施する。

- ・個数：1,000個
- ・内容：キハ52のギミック（赤色）+駅名プレート9種（糸魚川～南小谷）
- ・納品：H28年5月末（H28年2月～サンプル製作開始）
- ・キャンペーン（案）：

「大系線に乗ろう！」期間限定鉄道グッズプレゼントキャンペーン（仮）

期間（7月～8月末頃）

糸魚川駅、平岩駅、南小谷駅（有人、グッズ引き換え駅）にスタンプ台紙を設置。台紙を持ってどちらかの駅から乗車してもらう。

車両内に設置してあるスタンプを台紙に押ししてもらい、グッズと引き換える。

(11) 広域観光パンフレットの作成

高速道路SAに設置される広域ロードマップを作成、配布することでエリアへの誘客を促進する。片面に高速道路広域マップ、片面にエリアの詳細地図や見所、イベント、特産品等を紹介。

仕様 B2版12折 フルカラー
部数 60,000部
金額 2,376,000円（税込）
納期 平成28年3月下旬

配布予定場所

- ・北陸自動車道のSA（設置個所未定）



- ・中央自動車道諏訪SA（下）・双葉SA（下）・駒ヶ岳SA（上）
- ・東名高速道路 海老名SA（下）
- ・東京湾アクアライン海ほたるPA
- ・各県東京観光情報センター・大阪観光情報センター・名古屋観光情報センター
ほか、主要道の駅、観光施設、観光案内所に設置予定。

訪日ムスリム外国人旅行者の受入環境整備等促進事業

観光庁が取り組みを支援する「訪日ムスリム外国人旅行者の受入環境整備等促進事業」に北アルプス日本海広域観光連携会議で応募したところ、12月16日付けで富山県朝日町・新潟県糸魚川市・上越市・長野県小谷村・白馬村・大町市の6市町村が実施地域に選定されました。

白馬五竜の取り組みを周囲に広げていく事例のモデルケースとしたいというのが選定理由であり、今後、北アルプス日本海広域観光連携会議エリアでも、本事業により意識が高まり、インバウンド受入全体の促進に繋がることを期待するものであります。

ムスリムとは・・・世界三大宗教の一つであるイスラム教を信仰している人々。

1. ムスリムセミナーの開催

日程

- 2月22日(月) 上越市民プラザ 13:30～
 2月23日(火) 糸魚川市民会館 13:30～
 2月24日(水) サンアルプス大町 9:30～

内容

- ・第一部「イスラム教について」(60分)
 講師：国際機関日本アセアンセンター(東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター)
 観光交流部部長代理 神田 瑞穂 氏
- ・第二部「ムスリム客の受入について」(60分)
 講師：白馬五竜観光協会事務局長 佐藤 文生 氏
- ・質疑応答(30分)
- ・キブラシール、ムスリムガイドブック(観光庁作成)の紹介

2. ムスリム対応料理セミナー(仮称)

日程

- 3月22日(火) 上越市民プラザ 13:30～
 3月23日(水) 糸魚川地区公民館 13:30～
 3月24日(木) 大町公民館 10:30～

内容

地域の食材でマレーシア料理を作り、調理・試食を通じて楽しみながら食文化の違いを学ぶ。

講師：古川 音 氏(予定) マレーシア料理教室を主宰

参加費 無料

3．キブラシール作成

礼拝の方角を示すシール

作成部数：1万枚（サイズ145mm×45mm）

- ・エリア内の宿泊施設等に配布する。（申込制）

完成時期：3月初旬予定

4．ムスリム専用ホームページの作成

作成言語：英語（一部、日本語併記）

デザイン、構成

- ・各市町村ごとにムスリム対応施設一覧をデータとして掲載。データは随時更新する。

完成時期：3月中旬予定

訪日ムスリム外国人旅行者の受入環境整備等促進事業
実施地域エントリーシート

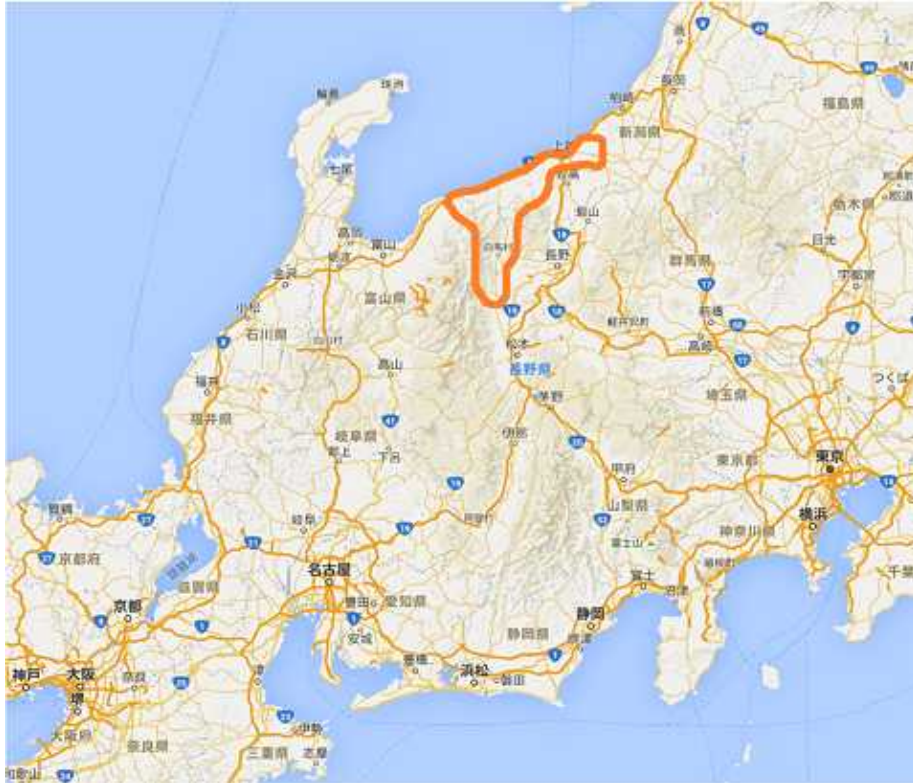
市区町村名：	朝日町・糸魚川市・上越市・小谷村・白馬村・ 大町市（北アルプス日本海広域観光連携会議）
担当部局：	白馬村観光局
担当者名：	伊達 仁彦
T E L：	0261-72-7100
F A X：	0261-72-6311
e - m a i l：	date@po.vill.hakuba.nagano.jp

1. 事業概要
(1) 事業実施地域

事業実施地域名

富山県（朝日町）、新潟県（糸魚川市・上越市）、長野（小谷村・白馬村・大町市）

地図



多くの外国人旅行者が利用する施設

北陸新幹線（糸魚川駅・上越妙高駅）、黒部ダム（アルペンルート）、北アルプス山岳景観（日本百名山：雨飾山・火打山・白馬岳・五竜岳・鹿島槍ヶ岳等）、スキー場（大町市3ヶ所、白馬村5ヶ所、小谷村3ヶ所、糸魚川市2ヶ所、上越市1ヶ所）、マリンドリーム能生（カニ直売所）、高田城（上越市）

(2) 推進体制

北アルプス日本海広域観光連携会議は、富山県朝日町、新潟県糸魚川市・上越市、長野県小谷村・白馬村・大町市の自治体6市町村で構成され、観光事業を連携して取り組む組織です。また、観光促進事業の実行組織として各自治体には観光連盟・観光協会・観光局等が連携しています。

(3) ムスリム対応を積極的に取り組もうとする理由や背景

連携会議のエリア内にはムスリム施策を5年前から積極的に展開している白馬五竜観光協会があります。当該協会は、白馬村内五竜地区にあり、宿泊施設・スキー場・スキースクールで構成（会員数約100軒）されています。白馬五竜観光協会のムスリム誘客事業の課題は、ムスリム対応施設の充実と通年観光を可能にすることです。問題点は、限られたエリアでの宿泊と観光資源（春の「雪と桜」、秋の「りんごやぶどう」）の期間限定的であることです。そこで、白馬五竜観光協会の課題解決と成功事例のノウハウを水平展開し、連携会議として誘客周辺観光地の受入環境整備や、通年観光による需要拡大を図っていききたいと考えています。エリア内にてムスリム観光客が1,400泊に対し、今後広域での受入環境整備を整えることで10,000泊以上を目指していききたい。

(4) 現在実施しているムスリム対応への取り組みの状況

白馬村白馬五竜観光協会では、ムスリム受入の為の事前セミナーとして「日本アセアンセンターによるムスリム受入セミナー」や「ムスリムの生活や文化についてのセミナー」、そして宿泊施設や飲食店を対象にした「マレーシア料理教室」等を開催しています。観光協会ではキブラシールの制作や配布と礼拝マットやキブラコンパスの貸出を行なっています。また、宿泊施設への直接指導も行っており、ムスリム受入の中心的な役割を担っています。そして、ムスリムのファミトリップを実施し、意見交換や礼拝・食事についての指導を受けました。マレーシア旅行博での現地旅行社との共同出展も行なっています。こうした取り組みは白馬五竜観光協会以外では取り組んでいません。

(5) 受入環境の向上に関する取り組み

礼拝場所

礼拝については、宿泊施設の部屋で行なっているケースが多いため、各地域の観光協会や商工会等で礼拝マットやキブラコンパスの貸出し行なう。キブラシールの室内掲示等に対応することとし、そのために必要になるキブラシールの作成・配付などを行う。なお、礼拝には手水（ウドゥー）用の場所が必要になるが、部屋に洗面所等がない場合は、入浴施設等の案内で対応する。また、主要観光施設内にて臨時礼拝施設あるいは施設内の手水（ウドゥー）施設が無い場合は、近隣施設で対応できるよう協力体制を整える。

民間事業者等による事業

【飲食店】原材料を明記したメニュー作成。アルコールメニューとの分離。店内でのアルコール類の販促物の撤去（可能な限り）。予定飲食店数150店
【お土産店】原材料の明記（特に豚に由来するもの）。予定店舗数10店（道の駅含む）
【宿泊施設】料理メニューの説明（豚やアルコールの有無の表示）。礼拝の際の準備（キブラコンパスの提供やキブラシールの掲示、手水（ウドゥー）用の場所の提供）。予定宿泊軒数100軒
【長時間滞在施設】礼拝場所の提供（キブラコンパスの提供やキブラシールの掲示、手水（ウドゥー）用の場所の提供、お祈り用マット類の準備）。
【施設共通】礼拝施設案内表示の多言語化（英語）の設置。予定設置数12ヶ所（各地域2ヶ所）
事業参加団体：観光団体6団体（朝日町観光協会・糸魚川市観光協会・公益社団法人上越観光コンベンション協会・一般社団法人小谷村観光連盟・一般社団法人白馬村観光局・大町市観光協会）、商工団体8団体（朝日町商工会・糸魚川商工会議所・能生商工会・青海町商工会・上越商工会議所・小谷村商工会・白馬商工会・大町商工会議所）、交通事業者5団体（西日本旅客鉄道株式会社金沢支店・えちごトキめき鉄道株式会社・糸魚川バス株式会社・頸城自動車株式会社・アルピコ交通株式会社）

市区町村による支援

ムスリム旅行者に対するおもてなしには、イスラム教の知識を得ることが重要となります。そこで、北アルプス日本海広域観光連携会議を実施主体とし、ムスリムセミナー、ムスリム対応料理教室を開催し、知識の向上を図ります。また、ハラル認証商品造成に関わる情報提供、その他ムスリム観光情勢に関する情報提供等を行うとともに、礼拝必需品（キブラシール等）の作成・配付を行ないます。

(6) 情報発信に関する取り組み

旅行情報で大切なのが、「食事」「礼拝」です。観光については、「酒蔵」「仏像」を除けば既存の情報で十分です。また、魚介類が大変好まれており、とりわけ「カニ」「エビ」「青物の魚」が大好きですので、日本海の幸を全面に出した情報発信が効果的だと思います。また、礼拝できる施設や設備情報等、ムスリム関連情報を統一した専用ページ制作し、各市町村及び観光事業者が作成しているホームページに掲載する取り組みを進めます。また、レストランガイドのメニューにも食材表記（国際基準）の統一化に向けた取り組みを行なっています。

(7) 市区町村が行う事業者等の取り組みに関する課題の把握・整理・分析方法及びその結果を今後の取り組みに活かす展望

セミナー等を実施するだけでなく、実際の運用が最も大切であると考えています。市町村が責任をもって実施事業者への現地確認をしていく仕組みづくりが必要です。また、観光施設を利用されるムスリム客へのアンケートやヒヤリングも定期的に行なう等のチェック体制を構築していきます。その上で、関係各所への情報提供や成功事例の水平展開を行なっていきます。

(8) 事業に要する経費

ムスリムセミナーの実施【テーマ：第一部イスラム教について 第二部ムスリム客の受入について】	
第一部講師	藤田 賢（国際機関日本アセンター観光交流部）
第二部講師	佐藤文生（白馬五竜観光協会事務長）
会場費	30,000円 @10,000円×3回（上越会場・糸魚川会場・大町会場）
講師料	180,000円 @30,000円×3回×2名
交通費	30,000円 実費を支給
宿泊費	30,000円 @15,000円×2回（佐藤講師は不要）
小計	270,000円
料理教室【テーマ：マレーシア料理教室（食材費別途徴収）】	
「マレーシア人シェフに習う料理教室」を主催している古川 音様に依頼	
調理会場費	60,000円 @20,000円×3回（上越会場・糸魚川会場・大町会場）
講師料	90,000円 @30,000円×3回
交通費	25,000円 実費を支給
宿泊費	30,000円 @15,000円×2回
小計	205,000円
礼拝環境整備	
キブラシール制作費	150,000円 @15円×10,000枚
キブラコンパス	無料 専用アプリからダウンロード
小計	150,000円
各種団体ホームページへの統一（ムスリム専用ページの作成）	
統一バナーの制作及びデザイン費	30,000円
翻訳費	50,000円
ページ制作費・デザイン費	100,000円
小計	180,000円
総合計	805,000円
負担者	観光庁 805,000円

(9) スケジュール

ムスリムセミナーの実施	2月中旬頃各会場を連続して開催予定
料理教室	3月中旬頃各会場を連続して開催予定
キブラシール制作・配布	3月初旬完了予定
ムスリム統一専用ホームページ制作	3月中旬完了予定

2. 当該地域の現状

(1) 現状

地域内の飲食店数	地域内の宿泊施設数	地域内のその他の施設等数
総数1,590軒（朝日町60、糸魚川市230、上越市940、小谷村60、白馬村120、大町市180）	総数790軒（朝日町10、糸魚川市50、上越市60、小谷村100、白馬村500、大町市70）	モスク 0ヶ所 礼拝可能な施設3ヶ所（白馬村白馬五竜エスカルプラザ、白馬サンパレーホテル、十郎の湯）

(2) 当該地域を訪れる訪日外国人旅行者属性

当該地域を訪れる外国人旅行者数	うち主なイスラム圏の国からの外国人旅行者数
大町市18,000・白馬村60,000・小谷村12,000（H.25長野県観光部調査より） 朝日町100（H.26富山県観光・地域振興局観光課より朝日町総宿泊数の約2%と推測） 上越エリア3,000（新潟県産業労働観光部より 妙高市を除く） 全エリア総計93,100（延泊数）	大町市450（98%は華僑、H.25長野県観光部調査より） 白馬村1,400（99%がムスリム）（白馬五竜観光協会より） 小谷村120（100%華僑、小谷村主要ホテル、グリーンプラザより聞き取りH.26実績） 朝日町0 上越エリア60（100%華僑、新潟県産業労働観光部より、妙高市を除く） 全エリア総計2,030（延泊数）*イスラム圏：マレーシア、インドネシア

3. その他

--

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成 28 年度 事業計画書（案）

(単位：千円)

区分	実施時期	事業名	頁	事業費	H28予算額	
広域観光PR	4月	誘客宣伝	広域旅行商品の販売促進（継続）	1P	1,000	5,300
	5月		ビジット・ジャパン地方連携事業（新規）	2-7P	4,000	
	5月		観光キャンペーンの実施（継続）	8P	300	
	通年	HP運営	ホームページ運営管理（継続）	9P	300	300
				5,600	5,600	
二次交通	4月-9月	二次交通	駅レンタカー乗捨無料事業（継続）	10-11P	1,200	2,861
	1月		冬季シャトルバス運行事業（継続）	12P	500	
	通年		鉄道魅力発信事業（継続）	13P	1,161	
	通年		北陸新幹線糸魚川駅利用促進戦略会議（継続）	14P	0	
				2,861	2,861	

誘客宣伝

広域旅行商品の販売促進（継続）

1 趣旨

新しい観光エリアとしての魅力を伝えるべく、広域観光商品を販売する。

2 事業計画（案）

旅行会社への平成28・29年度商品企画の開発と売り込み

【現在販売中又は販売が決定しているもの】

事業者	(株)はとバス(WEB限定商品)
タイトル	糸魚川荒波あんこう祭りと北陸新幹線&ローカル電車乗り比べ
内容	朝日なないろKAN・あいの風とやま鉄道泊駅(朝日町)＝糸魚川駅ジオパル・糸魚川温泉・あんこう祭り会場(糸魚川市)＝南小谷駅
出発日	1月23日
事業者	(株)阪急交通社
タイトル	北陸新幹線で一直線！誰も知らない!!糸魚川駅を訪ねる3日間
内容	フォッサマグナミュージアム・プチ街歩き・加賀の井酒造・糸魚川温泉・笹倉温泉(糸魚川市)
出発日	1月24日～4月19日 計26回
事業者	(株)はとバス
タイトル	もう乗った!!祝1周年北陸新幹線ちよい乗り体験と秘境グルメの宝庫！日本海大満喫
内容	坂口記念館(上越市)＝糸魚川駅ジオパル・糸魚川温泉・親不知コミュニティロード・市振街歩き・親不知ピアパーク・加賀の井酒造・玉翠園・谷村美術館(糸魚川市)
出発日	2月27日・3月5日・3月11日・3月18日・3月21日・3月26日

3 目標

認知度向上
来訪意欲の創出

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	商品企画の開発、売込み											

5 事業費（概算）

1,000,000 円 （ツアー実施協賛金として）

誘客宣伝

ビジット・ジャパン地方連携事業（新規）

1 趣旨

増加するインバウンド客に対応するべく、現在訪日旅行客数（新潟県）として最も多い台湾をターゲットに当エリアの共通観光資源である自転車を活用した誘客施策に取り組む。

※北陸信越運輸局連携事業

2 事業計画（案）

- (1) 6市町村の情報を一元化したプロモーション用パンフ（日・英・繁体・簡体）の製作。（6,000部）
- (2) 訪日ユーザー用サイクルロードマップ（日・英・繁体・簡体）製作。（20,000部）
- (3) 3泊4日でメディア招請（5社5名を想定）を行い、観光ルートを紹介する。

【行程案】 ※平成28年9月～10月を想定

- 1日目：台湾桃園国際空港⇒富山きときと空港⇒富山駅⇒（北陸新幹線）⇒糸魚川駅⇒大町仁科三湖・黒部ダム⇒白馬村（泊）
- 2日目：白馬村サイクリングコース・小谷村ヒルクライムコース⇒高田城・上越水族博物館⇒上越（泊）
- 3日目：久比岐自転車道⇒かにや横丁⇒なないろKAN・ひすい海岸⇒糸魚川（泊）
- 4日目：糸魚川駅⇒（北陸新幹線）⇒富山駅⇒富山きときと空港⇒台湾桃園国際空港

【招請案】

一般雑誌社

- 時時週刊・・・発行部数約6万部。購読者層25～29歳。国内外の芸能、グルメ、旅行、ファッション等を幅広く取り上げる週刊誌。
- 壹週刊・・・発行部数約12万部。国内外の芸能、グルメ、旅行、ファッション等を幅広く取り上げる最も購読率が高い雑誌。
- 康健・・・発行部数約9万部。健康、ライフスタイルをテーマにした生活情報誌。購読者層は家族を持つ30代。

旅行雑誌社

- MOOK TRAVELER・・・発行部数約8万部。毎月発行の旅行専門誌。海外及び国内旅行を紹介。
- 行遍天下・・・台湾版と国際版を一冊にまとめて発行。現在、旅行関連シリーズは既に500種類以上を発行。

- (4) 現地プロモーションを実施し旅行社を直接訪問し商品売り込む。（平成28年11月）
- (5) 現地誌Taipei Walkerへの出稿。（平成29年1月）

3 目標

エリアの認知度向上

新たな観光ルートの構築

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パンフ、マップの製作		○										
メディア招請						○	○					
旅行会社等セールスコール								○				○
Taipei Walker出稿										○		

5 事業費（概算） 4,790,000 円 （減額の可能性あり→4,000,000円で）

<内訳>

- ・メディア招請費（宿泊費・食事費・移動費） 650,000円
- ・セールスコール費（宿泊費）20,000円×2泊×6名=240,000円
- ・パンフレット・マップ製作費 3,900,000円

平成27年9月

北陸信越運輸局 平成28年度VJ地方連携事業ブロック戦略

1. 目的

北陸信越運輸局では、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」を踏まえ、ビジット・ジャパン（VJ）地方連携事業として、インバウンドに積極的に取り組む各地域（自治体及び観光関係団体等）と広域連携し、北陸信越地域ならではの上質な観光資源の魅力を海外向けに発信するなど、下記ブロック方針に沿って平成28年度事業計画を策定、戦略的プロモーション事業を展開し、北陸信越地域への外国人旅行者の訪日促進を図る。

当運輸局では、これまで実施してきたVJ地方連携事業の効果や、当該年度の事業実施により、平成32(2020)年の管内における外国人延べ宿泊者数^(注1)を平成26年実績の102万人泊より68万人泊増（率にして67%増）の170万人泊を目指す。

注1：観光庁「宿泊旅行統計調査」による（従業者数10人未満の施設は含まない）

2. ブロック方針

(1) 重点テーマ

平成28年度VJ地方連携事業は、従来の事業に留意しつつ、次のテーマについて特に重点を置くこととする。

- ① 北陸信越地域ならではの特色を活かし、四季折々の魅力をPRし、年間を通して訪日需要を創出する。
- ② 北陸新幹線、上越新幹線や航路を活用した広域観光ルート造成に資する。
- ③ 管内空港への国際航空路線の就航・増便や管内港湾へのクルーズ船の誘致に資する。
- ④ 管内の旅館（RYOKAN）や消費税免税店を有効活用し、観光旅行消費の拡大に資する。
- ⑤ 伝統工芸品等に触れていただくなど、「質の高い」北陸信越地域の文化の魅力を発信する。

(2) 対象市場

対象市場は、熟度に応じ次のとおり区分する。

また、市場毎の方針は「別添1.」のとおりとする。

① 成熟市場

台湾、中国、香港、韓国、豪州、シンガポール

② 成長市場

タイ、マレーシア、インドネシア、米国、フランス、イギリス、ドイツ

③ 潜在市場

スペイン、カナダ、イタリア、ロシア、ベトナム、フィリピン、インド

(3) 事業区分と概要及び成果指標

事業の区分と概要は、「別添2.」のとおりとする。

また、より具体的な効果が得られる事業とするため、成果指標を「別添2.」のとおり定めるとともに、以下の点に留意し、戦略的に事業を企画・展開することとする。

- ① 受託事業者からの報告等を通じて、全ての事業について成果指標に基づき、事業成果を把握する。
- ② 国費を負担する事業のみならず連携先において負担する事業についても、地域と連携し成果指標を共有する。
- ③ 招請事業については、招請者に対し、訪問した観光地の評価等を内容とするアンケート調査を必ず実施し、分析する。
- ④ 過去に実施した事業の事業成果等を分析し、成果を得られなかった事業については、事業の見直しや新たな事業計画を策定する。

3. 広域観光周遊ルート形成促進事業との関係

広域観光周遊ルート形成促進事業の主要広域観光ルート全体を対象にする事業については、VJ 地方連携事業では実施しないものとする。

4. 事業提案の募集と採択

当運輸局の事業計画を策定するにあたり、地域（自治体及び観光関係団体等）から事業提案を募集し、次の事項を考慮の上、採択するものとする。

① 事業提案の必須事項

- a. 重点テーマを踏まえた内容であること。
- b. 広域（2県以上にまたがるもの）での事業構築・連携が行われていること。

ること。ただし、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015」の趣旨に沿う事業であって、広域に対して波及効果が期待される事業はこの限りではない。

- c. 訴求内容とターゲットが、明確に分析・設定されており、高い効果が期待できる内容であること。また、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015」や「平成 27 年度市場別訪日プロモーション方針」（平成 27 年 5 月マーケティング戦略本部決定）及び「2.（2）」とも整合が図られていること。
- d. 成果指標が「2.（3）」に基づき明確に定められていること。

② 採択にあたっての優先事項

- a. 関係省庁が実施する観光振興に資する取組と連携するもの。
- b. 当該地域の中長期的な外国人訪日促進の方針や計画に即したものであって、VJ 地方連携事業の実施により、当該計画の加速や地域の総意の結集に資するもの。

5. 予算上限

VJ 地方連携事業の実施にあたっては、国は総費用（注 2）の 2 分の 1 を上限に負担することとする。

ただし、予算配賦額は年度当初に決定されているので、事業費が増加しても、配賦額以上の負担は行わない。

注 2：事業の実施に真に必要な範囲に限り、連携先の旅費を総費用に含めることも可

6. 今後のスケジュール（予定）

9 月 2 4 日（木）	事業提案の募集開始（運輸局 HP 掲載）
1 0 月 3 0 日（金）	事業提案の募集締め切り
1 1 月上旬	提案内容に関するヒアリング
1 1 月下旬	事業計画（案）の作成
1 2 月上旬	事業計画（案）の提出（運輸局→観光庁）
1 2 月中旬～1 月中旬	運輸局に対するヒアリング（観光庁）
1 月下旬～2 月下旬	事業計画（案）の査定、査定額の決定（観光庁）
3 月上旬	査定額の通知（観光庁→運輸局）
3 月下旬	事業計画の確定及び提出（運輸局→観光庁）
4 月以降	事業の実施

平成28年度 北陸信越運輸局VJ地方連携事業 事業提案書

事業名	北アルプス日本海広域誘客促進事業																			
事業実施主体	北アルプス日本海広域観光連携会議																			
国内関係地域	富山県(朝日町)、新潟県(糸魚川市・上越市)、長野県(小谷村・白馬村・大町市)																			
事業概要	1 対象市場	台湾																		
	2 ターゲット	自転車関連のアウトドアスポーツ愛好者層	選定理由	増加する台湾の自転車愛好者層に対し、当該地域内に訴求するコンテンツを有するため。																
	3 実施事業	<input type="checkbox"/> ①旅行会社招請 <input type="checkbox"/> ②海外現地商談会 <input checked="" type="checkbox"/> ③旅行会社等セールスクール <input type="checkbox"/> ④セミナー <input checked="" type="checkbox"/> ⑤共同広告 <input type="checkbox"/> ⑥純広告 OVJ事業 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦メディア招請 <input type="checkbox"/> ⑧海外現地メディア説明会 <input type="checkbox"/> ⑨インターネット広告(web) ●独自事業 <input type="checkbox"/> ⑩インターネット広告(SNS) <input checked="" type="checkbox"/> ⑪印刷物・映像等 <input type="checkbox"/> ⑫旅行博出展																		
	4 提案の背景・目的	現状、外国人旅行客の動きとして黒部立山アルペンルートを経由し首都圏・中京圏へ向かう観光ルートが主流であり、上記6市町村を結ぶルートがエアポケット化している。当エリアは、「海」「渓谷」「北アルプス」の豊かな自然資源と共に、「世界ジオパーク」「山岳文化」「塩の道」など文化的・歴史的にも日本を感じ得る観光資源を有している。平成27年3月に北陸新幹線糸魚川駅が開業し、当エリアの主要駅である糸魚川駅をハブとした広域観光連携を推し進めるにあたり、共通施策である「自転車」を主力観光資源と位置づけ、海外に積極的な情報発信、誘客展開を行うことで新たな観光ルートの構築に繋げていきたい。																		
	5 事業計画	6市町村の観光情報を一元化されたサイクル関連情報のプロモーション用パンフ(日文・英文・繁体文・簡体文)を6,000部 ユーザー用サイクルロードマップ(日文・英文・繁体文・簡体文)を20,000部 メディア招聘 5社5名、9月又は10月頃 3泊4日を実施(自転車をテーマに観光エリアを紹介)※1別紙参照 現地プロモーションとして10月頃旅行博時及び3月頃の旅行企画造成時期に併せて旅行社訪問 現地広告 Taipei Walkerへの出稿※2別紙参照																		
	6 訴求する主なテーマ・コンテンツ及び設定理由	日本海・北アルプスエリアへのインバウンド施策の主力テーマとして「自転車ツーリズム」を設定。現在、ロードルートやサイクリングコースが関係市町村で整備され、国際競技会や複数の市町村を跨ぐロードサイクルイベントも盛んに行われている。それぞれが持つ観光資源を融合し、サイクルスポーツが盛んな台湾へアプローチしたいものであり、富山きときと空港を発着する定期便の就航や白馬を中心としたインバウンド先進地域と組むことで受入の条件も満たしている。今後は富山、石川や飯山、野沢、松本方面への連携も視野に入れ広域観光へ繋げていきたい。 訴求テーマとしては、台湾人が好む「残雪の北アルプスと桜」「北アルプスと里山の紅葉」「蟹やエビといった海産物」、そして全てのエリアにある「温泉」を活かす。特に20～30歳代の若者層(個人旅行)には、ローカル線体験やロングツーリングのツアーも取り入れたい。また、40歳代家族(団体旅行)には里山や海岸の自然をゆっくり楽しめるサイクルツアーを企画していきたい。																		
	7 招請事業の視察行程	1日目:台湾桃園国際空港→富山きときと空港～富山駅～(北陸新幹線)～糸魚川駅～大町仁科三湖・黒部ダム～白馬村(泊) 2日目:白馬村サイクリングコース・小谷村ヒルクライムコース～上越市高田城・上越水族館～上越市(泊) 3日目:糸魚川市久比岐自転車道・かにや横丁視察～朝日町なないろKAN・棚山ファミリーランド・ひすい海岸～糸魚川(泊) 4日目:糸魚川駅～(北陸新幹線)～富山駅～富山きときと空港→台湾桃園国際空港																		
	8 スケジュール	事業番号	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
		③							○					○						
		⑤										○								
	⑦						○	○												
	⑪		○																	
9 事業の継続性	○ 新規 ○ 継続 (過去の事業名:)																			
想定する広域ルート	富山in～(北陸新幹線)～糸魚川駅～大町市～白馬村(泊)～小谷村～上越市～糸魚川(泊)～朝日町～富山(泊)out3泊4日																			
実施事業の費用	個別事業名	事業費合計				国(VJ)負担額				連携先負担額										
	メディア招請					航空券代				宿泊・食事費										
						400 千円				450 千円										
	共同広告費					通訳ガイド費				国内移動費										
						200 千円				200 千円										
	旅行会社セールスコール					デザイン費				千円										
				300 千円				千円												
印刷物・パンフ・マップ					広告掲載費				千円											
					千円				千円											
合計	1,250 千円				小計				600 千円				小計				650 千円			
合計	500 千円				小計				500 千円				小計				0 千円			
合計	1,220 千円				小計				980 千円				小計				240 千円			
合計	6,300 千円				小計				2,400 千円				小計				3,900 千円			
総合計	9,270 千円				小計				4,480 千円				小計				4,790 千円			
定量成果目標	セールスコール	訪問件数	10	商談件数	10	造成ツアー本数	5	送客数	1500(泊)	日本側参加人数	6									
	共同広告	掲載本数	1	媒体接触者数	20万	造成ツアー本数	5	送客数	1000(泊)											
	メディア招請	掲載本数	5	媒体接触者数	150万	メディア費用換算(円)	500万													
	印刷物・映像等	作成部数/放映時間	100万		10万															
定性目標	北アルプス日本海広域観光ルートの旅行商品造成、台湾における富山・新潟・長野のアウトドアスポーツの情報発信、アジア圏(特に台湾)客の新規取り込み																			

提案者

所属	新潟県糸魚川市産業部交流観光課	担当者名	土沢 修栄
電話	025-552-1511	E-mail	syuei.dozawa@city.itoigawa.niigata.jp

誘客宣伝

観光キャンペーンの実施（継続）

1 趣旨

北陸新幹線の開業によりこれまで以上に関東圏からの誘客を促進するため、集客力のある大規模商業施設において情報発信することで認知度の向上と誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

【開催概要】

- 1 日時 平成28年4月～10月の間 土・日2日間
※グリーンシーズン、秋シーズンの誘客促進につながる時期を選定
- 2 会場 イオンレイクタウンkazeモール(埼玉県越谷市レイクタウン3-1-1)
電話048-930-7000
- 3 内容
 - ・観光大使、越後上越おもてなし武将隊による観光PR
 - ・観光ポスター掲出、観光パンフレットの配布
 - ・特産品が当たるアンケート抽選会
 - ・ゆるキャラ撮影会
 - ・その他来場が見込まれるイベント(ヒスイ探し体験等)

3 目標

魅力情報の発信

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画	→											
実施	→											

5 事業費（概算）

300,000 円

HP運営

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

5 事業費（概算）

300,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 240,000円
- ・情報更新料 5,000円/月×12カ月=60,000円

二次交通

駅レンタカー乗捨料金助成事業（継続）

1 趣旨

駅レンタカー利用者の乗捨料金を補助することで、エリア内の周遊を促す。

2 事業計画（案）

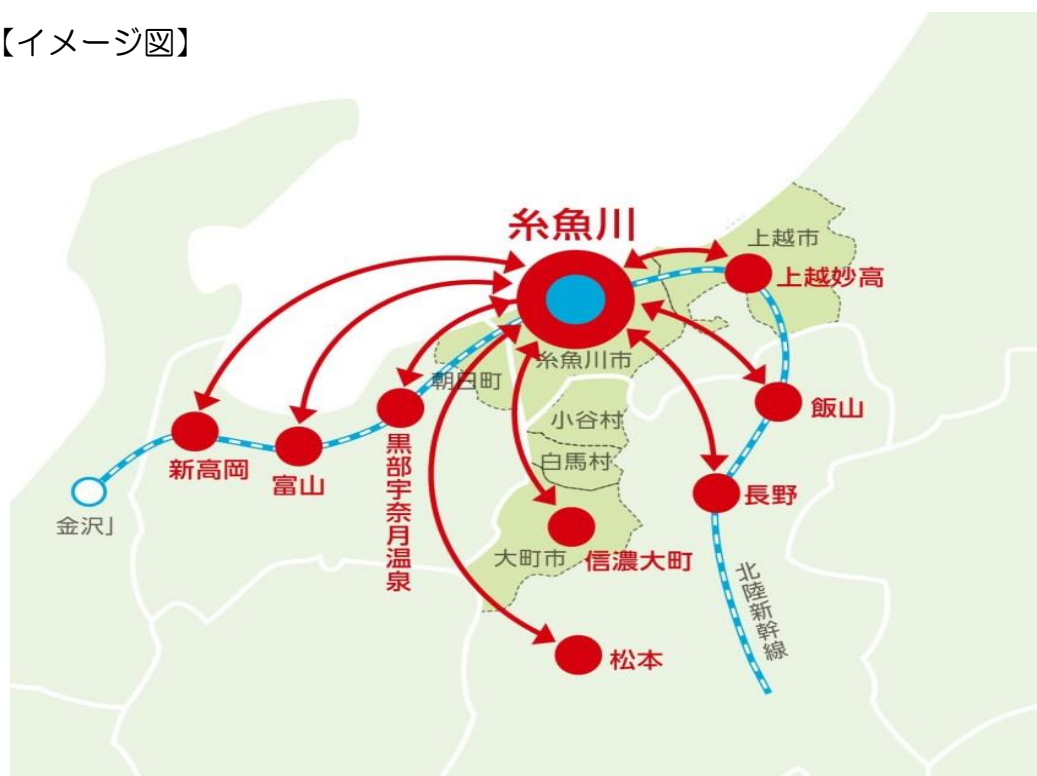
(1) レンタカー利用者の乗捨料金の補助

- ・糸魚川営業所を起点とする4,320円区間の乗捨利用に対し、糸魚川営業所を発地又は着地とすることを条件に乗捨料金の全額を補助する。
- ・JR西日本の協力を得て、大手旅行社や駅レンタカー会社へ情報提供、情報掲載依頼を行い、認知度と利用率の向上を図る。
- ・旅行社の上期商品に合わせ実施期間を4月～9月とし、必要に応じて下期（10月～12月）の販売も検討する。

(2) レンタカー利用者への施設優待券等の提供

- ・連携会議エリア内の観光施設の割引利用券（美術館、博物館、資料館等）を提供することで、観光流動を創出するとともにエリアの活性化を図る。

【イメージ図】


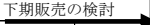


3 目標

観光流動の創出

糸魚川駅の利用促進

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上期商品の販売（4月～9月） 											
			下期販売の検討 									

5 事業費（概算） 1,200,000 円

<内訳>

- ・乗捨料金補助 5,000円×200件＝1,000,000円
- ・チラシ製作費 200,000円

二次交通

冬季シャトルバス運行事業（継続）

1 趣旨

冬季、白馬バレーに滞在する主に外国人観光客をターゲットに、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

2 事業計画（案）

- (1) H27年度の「シーフードシャトルバス」の継続実施。今年度の反省を踏まえ内容の磨き上げを行う。実施については、グローバル観光委員会（糸魚川青年会議所内）及び三愛旅行社（糸魚川市）。

行程
 白馬東急ホテル(16:30) === 八方バスセンター(16:35~16:45) === 糸魚川駅(17:50~21:00) === 八方バスセンター(22:00) === 白馬東急ホテル(22:10)
 ※マイクロバス27人乗り(基本) 糸魚川での滞在は約3時間



※平成27年度利用実績

【見直し項目】

- ・ 運営方法の確認
- ・ シャトルバスの運行経路、運行時間
- ・ 利用料金
- ・ 運行上のトラブル
- ・ 車内での過ごし方
- ・ 糸魚川市内での滞在時間と内容
- ・ 参加店舗及び提供メニュー

- (2) エssenシャルガイド掲載

3 目標

新たな観光ルートの構築
 交流人口の拡大

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							企画					
										運行		

5 事業費（概算）

500,000 円

二次交通

鉄道魅力発信事業（継続）

1 趣旨

在来線の魅力をアピールすることで大糸線、えちごトキめき鉄道、あいの風とやま鉄道の利用促進に繋げる。

2 事業計画（案）

- (1) 鉄道限定グッズの作成
 - ・マニアだけに限らず、一般家族連れにも分かりやすく直接的かつシンプルに乗車を動機付けることで訴求。
- (2) 鉄道誌への掲載
 - ・メジャーな鉄道雑誌に記事掲載してもらい、限定グッズ交換券を添付する。
 - ・記事になった原稿をもとに見所マップを作成する。
- (3) 限定グッズ入手者にアンケート調査を行い、今後の鉄道利用促進等に活用する。



掲載雑誌(案)

- 月刊(21日発売、発行月の前々月:1月発売が3月号)
- 発行部数 130,000部
- B5判変形(天地257mm、左右189mm)左無線綴
- ページ数 通常号 170ページ
- 構成 全誌面の約90パーセントがカラー誌面。
- 定価 通常 1,000円(税込)

<媒体の特徴>

読者の多くは毎号購入していただける固定読者で、鉄道ファンや旅行好きの方のほか、鉄道関連企業や交通関係の専門職の方から支持。趣味誌・専門誌として読者の年齢層は30～40歳をピークに小学生から中高年まで幅広く、

3 目標

利用者サービスの向上
交流人口の拡大

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				27年度取材記事掲載						29年度記事打合せ		
										29年度ストラップ製作		

5 事業費（概算）

1,161,000 円

<内訳>

- ・掲載費・編集費・取材費 385,000円
- ・フィギュアストラップ製作 775,980円

二次交通

北陸新幹線糸魚川駅利用促進戦略会議（継続）

1 趣旨

糸魚川駅から周辺市町村への広域的誘客を図るため、旅行商品の造成や観光地への誘導方法の検討により、北陸新幹線糸魚川駅の利用促進を図る

2 事業計画（案）

具体的な検討を図るため、各団体の担当者クラスにより構成する。

(1) 旅行商品の造成

- ・北陸新幹線糸魚川駅を玄関口とした広域観光旅行商品の造成
- ・旅行商品造成に向けた企画、支援
- ・北アルプス日本海周遊ルートの設定

(2) 観光地への誘導方法の検討

- ・旅行商品の造成と連携した、観光地へのアクセスの検討
- ・観光地へのアクセス（鉄道・バス・タクシー等）の魅力アップ対策の検討
- ・新幹線糸魚川駅利用者を対象とした割引特典等の検討

(3) その他

- ・その他、北陸新幹線糸魚川駅の利用促進に関すること

3 目標

二次交通の環境整備に向けた検討
周遊ルートの制度設計

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	会議開催、検討											

5 事業費（概算）

0 円

平成28年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	説 明
1. 負担金	7,689,000	
	5,000,000	糸魚川市
	630,000	上越市
	890,000	大町市
	275,000	白馬村
	94,000	小谷村
	400,000	朝日町
	400,000	新潟県
2. 補助金	0	
3. 雑収入	200,000	総会交流会費、預金利息
4. 繰越金	1,372,000	前年度繰越金
計	9,261,000	

【支出の部】

科 目	予算額	説 明
1. 事業費	8,461,000	
誘客宣伝	5,300,000	V J 地方連携事業、旅行商品の開発・販売
二次交通	2,861,000	二次交通の整備拡充
ホームページ運営費	300,000	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	800,000	
会議費	300,000	総会、交流会
事務委託費	450,000	糸魚川市観光協会
事務通信費	50,000	消耗品、事務通信費等
計	9,261,000	

平成27年度事業計画（案）

「北陸新幹線糸魚川駅開業1周年記念イベント」

- 1 開催日 平成28年3月20日（日）
- 2 実施主体 北陸新幹線糸魚川駅開業記念事業実行委員会
- 3 目的 北陸新幹線開業1周年を記念して、地域住民のおもてなしの心の醸成、交流人口の拡大、糸魚川駅の利用促進を図る。
- 4 時間 10：30～17：15（予定）
- 5 会場 糸魚川駅アルプス口駅前広場 特設会場
- 6 入込客数 イベント全体で10,000人予定
- 7 内容
 - ステージイベント（素案）

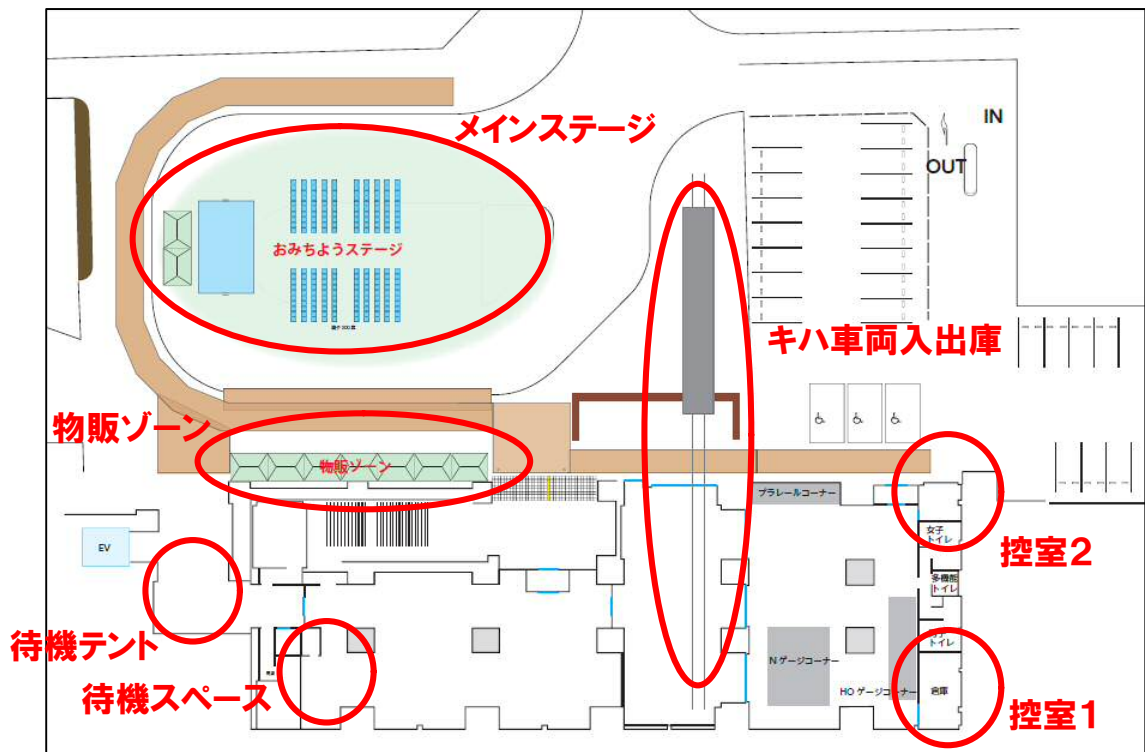
10：30～10：40	オープニング(実行委員長挨拶)
10：40～11：00	キハ車両出庫 太鼓演奏（翡翠太鼓、琴平太鼓など）
11：00～12：00	吹奏楽演奏（小学生、中学生、高校生など）
12：00～12：30	ブースPRタイム
12：30～13：30	公募ステージ
13：30～14：30	キハ車両入庫 (アイドルグループリハーサル)
14：30～15：30	ダンスパフォーマンス等
15：30～16：30	芸能人パフォーマンス (よしもと、大道芸人、和太鼓演奏など)
16：30～17：15	アイドルグループステージ
17：15	終了

■その他イベント

北陸新幹線糸魚川駅、えちごトキめき鉄道(株)、広域商店街、地区（中央区など）、観光協会（ジオパル内イベント）、商工会議所、糸魚川地酒の魅力発信実行委員会、なりわいネットワーク等の団体へ声掛けし、チラシ等の掲載・周知を行う中で、駅周辺の連携したイベントを開催する。

■会場レイアウト

○メイン会場（糸魚川駅アルプス口駅前広場／ステージ・物販ゾーン）



○物産・PRコーナー（糸魚川駅自由通路）

